

事業概要シート

施策 1801 道路網の整備

《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	市道維持管理事業	現状維持	予算額		
				184,193 千円	
事業期間	～	財源内訳	《 139,896 》千円		
根拠法令 要綱等	道路法		国庫支出金	千円	
			県支出金	千円	
			地方債	3,300 千円	
			その他	10,914 千円	
		一般財源	169,979 千円		

【事業の目的・概要・対象】

目的：市道を適切に維持管理し、安全で安心な道路交通環境を確保する。
 概要：市道910路線、総延長540kmの維持管理を行うため、側溝・路面の修繕・補修、街路管理業務・雑草刈り取りや、市道区域内の民有地測量・分筆を委託で行い、専門嘱託員3名をおいて道路のパトロールや分筆された土地の所有権移転登記を行っている。

【平成30年度拡充】

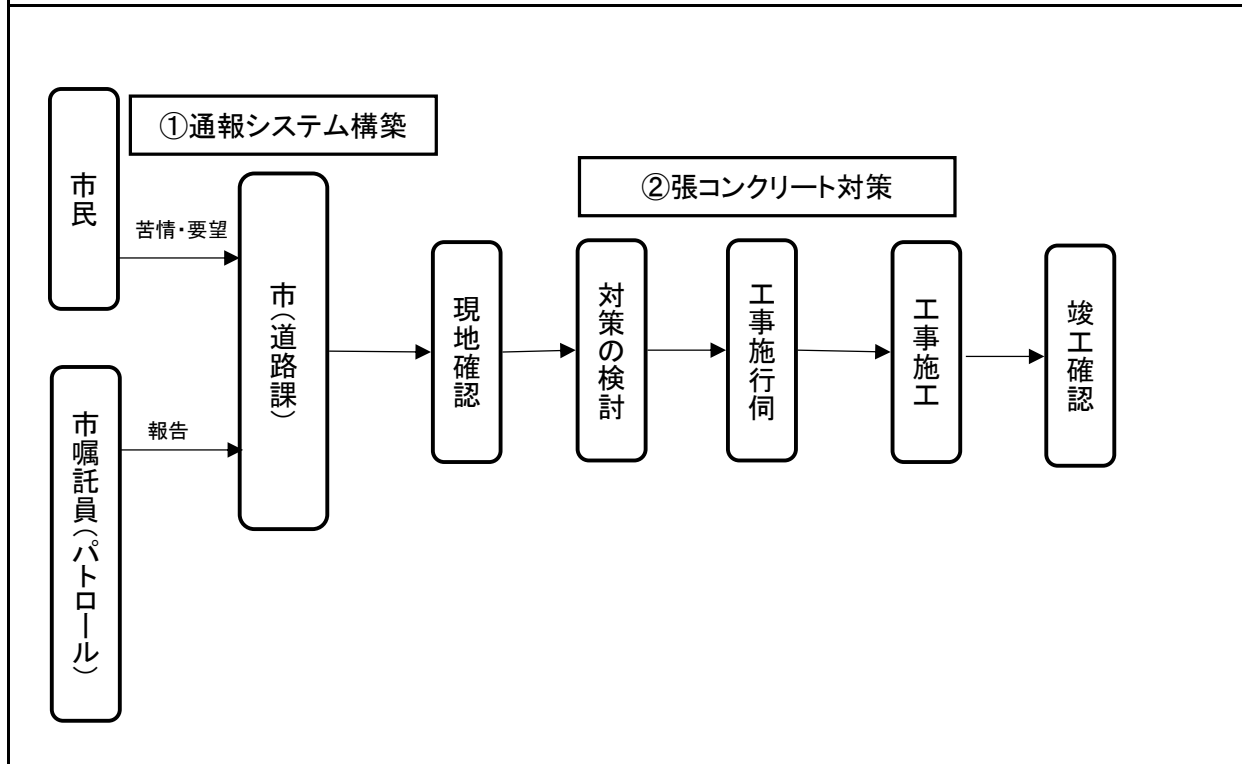
①市道異常個所通報システム導入

市道異常個所通報システムを構築することで、通報者は異常個所を見つけたらスマートフォンにて情報システムに送信、管理者（専門嘱託員1名）は送信された情報を確認し対応者（専門嘱託員2名）へ依頼し、通報者へフィードバックする。異常個所への迅速な対応を図ることで、事故の未然防止を図る、ただし平成31年度までは県内自治体及びナークの調査研究を行うため、予算は計上しない。

②草刈り部への張コンクリート

地元草刈が農業後継者の高齢化により存続が危ぶまれていることから、草刈り部分を年次計画で張コンクリートにて被覆することで、雑草の繁茂を抑え草刈り作業と費用の低減を図る。

対象：市道利用者



【背景】

舗装等の道路施設において、経年劣化が進行しており、再整備には多額の事業費を要する。また、市民からの要望が多い舗装補修や側溝改修を実施しているところである。

担当課	都市整備部道路課	課長	浦山 弘幸
担当者	丸尾 直由	問合せ先	0957-53-4111 (内線428)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	側溝・路面の修繕補修件数	件	256	289	250	300	300
②	街路樹管理業務委託延長	km	18	18	18	18	18

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	苦情件数	件	246	246	310	310	310
②	市道草刈延長の減	km	-	-	3.4	3.4	3.4

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	206,195	227,120	139,896	184,193	184,193	184,193	1,125,790
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債				3,300	3,300	3,300	9,900
その他	10,680	10,667	10,635	10,914	10,914	10,914	64,724
一般財源	195,515	216,453	129,261	169,979	169,979	169,979	1,051,166
人件費	34,517	41,054	38,028	38,028	38,028	38,028	227,685
職員(人)	4.04人	4.75人	4.70人	4.70人	4.70人	4.70人	27.59人
時間外勤務(h)	2569h	3256h	1925h	1925h	1925h	1925h	13525h
嘱託員(人)	0.00人						0.00人
フルコスト	240,712	268,174	177,924	222,221	222,221	222,221	1,353,475

妥当性 (市の関与)	市道管理者として関与が妥当
有効性 (施策貢献度)	施策（道路網の整備）に関し、市道の適切な維持管理を行うことによる貢献度は高い。
効率性 (コスト)	市道雑草刈取りに、地元委託の活用が可能

1次評価	市道施設は経年劣化が進行しており、維持補修が必要である。
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--